

令和2年度富山県水墨美術館運営委員会 議事抄録

令和3年3月2日 富山県水墨美術館映像ホール（一部リモート）

委員16名中出席13名（うちリモート5名）、欠席3名

次第

1. 開会
2. 委員長選出
3. 議事
 - (1) 令和元年度事業報告・令和2年度事業実施状況
 - (2) 指定管理者の事業概要
4. 意見交換
5. 閉会

おもな発言

- ・ 県内の芸術団体なども「リモート」での試みなど、コロナ禍での活動を工夫しておられる。ピンチをチャンスにしていくチャレンジが大切ではないか。(A委員)
- ・ 東京ではオンラインの予約制が増えているが、高齢層には抵抗があるようで、若年層の率が高くなっている。(B委員)
- ・ コロナ禍での展覧会予定変更など、ご苦勞されながら取り組んでおられる。予算の変更などもあったのではないか。(C委員)
- ・ 県外からは行きたいと思いつながらなかなか行けない。書道の人口は減ってきている一方で若い人たちには熱心な層も出てきており、「書」について、引き続き検討されるべきかと思う。(D委員)
- ・ 長くご無沙汰しているが、活動は気になっていた。アンケートでは自家用車の率が高いのに驚く。満足度が高いのはいいことだ。順調に展開しているようで、特段の注文はないが、地域の、まだ広く知られていない作家を掘り起こし、紹介していくことを頑張ってもらいたい。日本海側といった視点も面白いと思う。(E委員)
- ・ 水墨美術館はコロナ禍でもよく頑張っていると思う。観覧者数が多くなってきたら、完全予約制ではなく、予約制と当日受付を並行するやり方がよいのではないか。私は水墨画が好きなのだが、墨だけで描ける絵は「素人でも描ける」と思う層も少なくない。「水墨画とは何だろう」といつも思っているの、そうした企画に期待している。(F委員)
- ・ 庭や茶室なども含めて素晴らしい美術館だと思っている。若い層へのアピールは重要で、TwitterやFacebookで頑張っておられるがInstagramなどにも取り込まれるとよい。来館者層の拡大には、無料公開の日がもっとあってもよいと思う。(G委員)
- ・ 横山操展には感動した。今春からまたワクワクとする企画が予定されており、全部見たいと思っている。観覧者は少なかつたかもしれないが、東京などと比較するのがおかし

いのであって、こんないい美術館はないと思っている。(H 委員)

- ・ 「水墨」というと、今の日本画の展覧会の中では、なかなか入選さえできない。一方で、日本画家の最後に行きつくところは「水墨」だというような話もあり、難しいところだと思う。(I 委員)
- ・ サービスケアアテンダントの資格を持つ職員がいるのなら、それをもっと売りにしてもいい。篁牛人は本当にすごい作家だと思うので、期待している。(J 委員)
- ・ コロナ禍ではリモートの活動も大事になっていく。SNS や、さらに YouTube などにも取り組んではどうだろうか。(K 委員)
- ・ よく努力しておられるので、もっともっと来館者が増えたらよいのだが。特に子どもたちや若い世代が増えたらよいと思うので、工夫してほしい。(L 委員)
- ・ 県内の他館では、実行委員会形式の展覧会でも「予約制」にしないで何とかしていた。美術館はどちらかといえば「安全」なところだと思う。来年度の企画も楽しみにしている (M 委員)